

# 安全データシート

## JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2026.06.11

バージョン番号: 7

改訂日: 2026.06.11

### 1 化学品及び会社情報

- ・製品識別子
  - ・化学品の名称 ICP-MS Calibration Standard (125 mL)
  - ・製品コード IMS-101
  - ・該当純物質または混合物の関連特定用途及び使用禁止用途 分析化学研究所用の試薬および基準
  - ・安全データシートの供給元の詳細情報
  - ・供給者の会社名称,住所及び電話番号  
 アジレント・テクノロジー株式会社  
 住所  
 〒192-8510 東京都八王子市高倉町9-1
  - ・その他の情報問い合わせ先:  
 電話番号  
 +81-42-660-3111
- pdl-msds\_author@agilent.com  
 緊急連絡電話番号 CHEMTREC®: 0800-300-5842

### 2 危険有害性の要約

#### ・化学品のGHS分類



GHS06 頭蓋骨と大たい骨

急性毒性(吸入) 区分2

H330 吸入すると生命に危険



GHS05 腐食

金属腐食性物質 区分1

H290 金属腐食のおそれ

重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分1 H318 重篤な眼の損傷



GHS07

皮膚腐食性/刺激性 区分2

H315 皮膚刺激

#### ・GHSラベル要素 ( 絵表示又はシンボル,注意喚起語,危険有害性情報及び注意書き )

#### ・GHS ラベル要素

本製品はGHS(化学品の分類および表示に関する世界調和システム)により分類及び表示されています。

#### ・絵表示



GHS05 GHS06

#### ・注意喚起語 危険

#### ・危険と定められた成分をラベル表示: 硝酸

(2ページに続く)

# 安全データシート

## JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2026.06.11

バージョン番号: 7

改訂日: 2026.06.11

### 化学品の名称 ICP-MS Calibration Standard (125 mL)

(1ページの続き)

**・危険有害性情報**

- H290 金属腐食のおそれ
- H330 吸入すると生命に危険
- H315 皮膚刺激
- H318 重篤な眼の損傷

**・注意書き**

- P101 医学的な助言が必要なおときには、製品容器やラベルをもっていくこと。
- P102 子供の手の届かないところに置くこと。
- P103 使用前にラベルをよく読むこと。
- P260 蒸気を吸い込まないでください。
- P284 【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること。
- P280 保護手袋/目保護帯/顔保護面 の着用
- P234 他の容器に移し替えないこと。
- P264 取扱い後はよく洗うこと。
- P271 屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。
- P310 直ちに毒物センター/医師に連絡すること。
- P320 特別な処置が緊急に必要な(このラベルのを見よ)。
- P304+P340 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- P332+P313 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察 / 手当てを受けること。
- P302+P352 皮膚に付着した場合: 多量の水で洗うこと。
- P390 物の被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。
- P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- P405 施錠して保管すること。
- P406 耐腐食性/耐腐食性内張りのある... 容器に保管すること。
- P501 現地/地域/国/国際規定に従い内容物・容器の露出

**・GHS分類に関係しない又はGHSで扱われない他の危険有害性**

- ・PBT (残留性、生物濃縮性、毒性物質) 及び vPvB (高残留性、高生物濃縮性物質) アセスメント
- ・PBT (残留性、生物濃縮性、毒性物質): 情報なし
- ・vPvB (高残留性、高生物濃縮性物質): 情報なし

### 3 組成及び成分情報

**・化学物質・混合物の区別: 混合物**
**・説明:** 危険のない混ぜ合わせかたをした以下成分からなる混合物

**・危険な含有成分:**

7697-37-2	硝酸	3.5%
	⚠ 酸化性液体 区分2, H272; ⚠ 急性毒性(吸入) 区分1, H330; ⚠ 皮膚腐食性/刺激性 区分1A, H314	

### 4 応急措置

**・応急手当処置に関する説明**
**・一般情報:**

- プロダクトの付着した衣類は速やかに脱ぐこと
- 呼吸防護マスクは汚染衣服を脱いだ後にはずすこと
- 呼吸が不規則な場合あるいは呼吸停止の際には人工呼吸器を使用のこと

(3ページに続く)

# 安全データシート

## JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2026.06.11

バージョン番号: 7

改訂日: 2026.06.11

### 化学品の名称 ICP-MS Calibration Standard (125 mL)

(2ページの続き)

- ・吸入した場合  
外気もしくは酸素を送り込む、医者 の助けを借りる  
意識不明の場合には安定させた状態で横向きに寝かせ、移送する
- ・皮膚に付着した場合 即刻石鹸と水で洗い、よくすすぐ
- ・眼に入った場合 瞼を開けたまま、流水で何分間か眼をすすぎ、医者 に相談する
- ・飲み込んだ場合 状態が好転しない場合には医師に相談する
- ・急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 追加的な関連情報は得られていません。
- ・何らかの即時医療処置及び特別治療の必要性を示す兆候 追加的な関連情報は得られていません。

### 5 火災時の措置

- ・消火剤
- ・適切な消火剤 周辺の状況に合わせた消火措置を取る
- ・本化学物質または混合物から発生する特別な危険性 加熱もしくは火災の際に有毒ガスが発生する
- ・消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置
- ・特別な保護装備: 呼吸保護マスクを着用

### 6 漏出時の措置

- ・人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置  
呼吸保護装備を着用  
防護服を着用。防護服を着用していない人は近づけない
- ・環境に対する注意事項 下水処理施設、地上水あるいは地下水に達しないようにする
- ・封じ込め及び浄化の方法及び機材  
液体吸収材 (砂、珪藻土、酸結合剤、ユニバーサル結合剤、おがくず) で吸収する  
中和剤を使用  
13 項に下がい汚染材は廃棄物として処理する  
十分な換気を心がける
- ・他のセクションへの言及  
安全な取り扱い方に関しては 7 項を参照  
人の保護装備の情報に関しては 8 項を参照  
廃棄処分に関しては 13 項参照

### 7 取扱い及び保管上の注意

- ・取扱い  
作業場では十分な換気、埃を吸い取るよう心がける  
容器は十分に注意しながら開封し、取り扱う  
エアゾールの発生を防ぐ
- ・火災および爆発防止に関する注意事項: 呼吸保護装置を用意しておく
- ・混融危険性を含めた安全貯蔵条件
- ・保管  
保管スペースおよび容器に関する要求事項: 特別な要求事項なし  
同じ場所に保管する際の注意事項: 必要ない  
保管条件に関するその他の注意事項: 容器は密閉した状態に保つ  
特定の最終用途 追加的な関連情報は得られていません。

JP

(4ページに続く)

## 安全データシート JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2026.06.11

バージョン番号: 7

改訂日: 2026.06.11

**化学品の名称 ICP-MS Calibration Standard (125 mL)**

(3ページの続き)

### 8 ばく露防止及び保護措置

・許容濃度等

・作業場において限界値の監視を要する成分:

7697-37-2 硝酸

OEL	長期値: 5.2 mg/m <sup>3</sup> , 2 ppm
-----	------------------------------------

・追加注意事項: 生成時に有効なリストがもとなっている

・設備対策

・技術設備の形体に関する追加注意事項: その他の申し立てなし、7項参照

・保護具

・一般防止措置および衛生措置:

- 食物、飲み物、飼料からは遠ざける
- 汚れのしみ込んだ衣類は即刻脱ぐ
- 休憩の前、作業終了後には手を洗う
- 防護服は別に保管する
- ガス・蒸気・エアゾールは吸い込まない
- 皮膚が触れないようにする
- 眼に入らないよう、また皮膚に接触しないよう注意する

・呼吸保護器具:

Agilent の指示に従って目的どおりに使用した場合、通常のラボ条件下および標準的な方法での製品の使用に著しい気中浮遊暴露は生じないため、呼吸用保護具は不要です。  
呼吸用保護具が必要であると見なされる緊急条件下では、適切な有機ガスまたは酸性ガスカートリッジを備えた NIOSH または同等の承認済み保護具を使用してください。

・手の保護:

化学物質に持続的に接触する場合や洗浄時の使用には推奨できませんが、通常の使用には厚さ 0.28~0.33 ミリのニトリル手袋をお勧めします。  
破過時間は 1 時間です。  
化学物質に直接接触する流出物の洗浄時には、破過時間が 4 時間を超える、厚さ 0.30~0.38 ミリのブチルゴム手袋をお勧めします。供給業者の推奨事項に従ってください。

・手袋材

通常使用時:  
ニトリルゴム、厚さ 0.28~0.33 ミリ  
化学物質に直接接触する場合:  
ブチルゴム、厚さ 0.30~0.38 ミリ

・手袋材の浸透時間

通常使用時:  
ニトリルゴム:  
1 時間  
化学物質に直接接触する場合:  
ブチルゴム:  
> 4 時間

・眼の保護:



密閉式保護めがね

(5ページに続く)

# 安全データシート

## JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2026.06.11

バージョン番号: 7

改訂日: 2026.06.11

**化学品の名称 ICP-MS Calibration Standard (125 mL)**

(4ページの続き)

### 9 物理的及び化学的性質

・基本的な物理及び化学特性に関する情報 ・一般指示事項	
・物理状態	液状
・色	無色
・臭い	無臭
・嗅覚閾値	決まっていない
・融点 / 凝固点 (混合物の場合は,記載省略可)	0 °C
・沸点又は初留点及び沸点範囲	100 °C
・可燃性	情報なし
・爆発下限界及び爆発上限界 / 可燃限界	
・下限:	決まっていない
・上限:	決まっていない
・引火点	情報なし
・分解温度	決まっていない
・pH	決まっていない
・粘性:	
・動粘性率	決まっていない
・力学的 約 20 °C:	0.952 mPas
・溶解度 (混合物の場合は,記載省略可)	
・水:	混ぜ合わせられない、ほとんど混ぜ合わせられない
・n-オクタノール / 水分配係数 (log 値) (混合物の場合は,記載省略可)	決まっていない
・蒸気圧 約 20 °C	23 hPa
・密度及び / 又は相対密度	
・密度 約 20 °C:	1 g/cm <sup>3</sup>
・相対的密度	決まっていない
・蒸気密度	決まっていない
・その他のデータ ・外観	
・形:	液状
・健康および環境保護ならびに安全に関する重要な指示事項	
・自然発火点	プロダクトは自然発火しない
・爆発の危険:	プロダクトは爆発する危険はない
・溶剤含有量:	
・水:	96.5 %
・固形物含有量:	0.0 %
・分子量	18.02 g/mol
・状態の変化	
・気化速度	決まっていない

### 10 安定性及び反応性

- ・反応性 追加的な関連情報は得られていません。
- ・化学的安定性
- ・熱分解/回避すべき条件: 規定どおりの使用では分解しない
- ・危険有害反応可能性 危険な反応は起きていない
- ・避けるべき条件 追加的な関連情報は得られていません。

(6ページに続く)

# 安全データシート

## JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2026.06.11

バージョン番号: 7

改訂日: 2026.06.11

**化学品の名称 ICP-MS Calibration Standard (125 mL)**

(5ページの続き)

- ・**混触危険物質** 追加的な関連情報は得られていません。
- ・**危険有害な分解生成物** 危険な分解プロダクトはない

### 11 有害性情報

- ・**毒性学的影響に関する情報**
- ・**急性毒性** 吸入すると生命に危険

 ・**分類上の LD/LC50 値:**
**ATE (急性毒性推定値)**

吸収	LC50/4 h	1.43 mg/L
----	----------	-----------

**7697-37-2 硝酸**

吸収	LC50/4 h	67 mg/L (rat)
----	----------	---------------

- ・**初期刺激作用:**
- ・**皮膚腐食性 / 刺激性** 皮膚刺激
- ・**眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性** 重篤な眼の損傷
- ・**呼吸器感作性又は皮膚感作性** 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。
- ・**生殖細胞変異原性** 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。
- ・**発がん性** 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。
- ・**生殖毒性** 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。
- ・**特定標的臓器毒性 (単回ばく露)** 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。
- ・**特定標的臓器毒性 (反復ばく露)** 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。
- ・**呼吸器に危険** 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。
- ・**誤えん有害性** 追加的な関連情報は得られていません。

### 12 環境影響情報

- ・**毒性**
- ・**水生生物に対する毒性:** 追加的な関連情報は得られていません。
- ・**残留性・分解性** 追加的な関連情報は得られていません。
- ・**生態蓄積性** 追加的な関連情報は得られていません。
- ・**土壤中の移動性** 追加的な関連情報は得られていません。
- ・**PBT (残留性、生物濃縮性、毒性物質) 及び vPvB (高残留性、高生物濃縮性物質) アセスメント**
- ・**PBT (残留性、生物濃縮性、毒性物質):** 情報なし
- ・**vPvB (高残留性、高生物濃縮性物質):** 情報なし
- ・**オゾン層への有害性** 追加的な関連情報は得られていません。
- ・**他の副作用**
- ・**その他のエコロジーに関する注意事項:**
- ・**一般注意事項:**  
 水への危険度分類 1 (ドイツの規定) (自己査定): 水に対する危険性はわずかにある  
 薄めずに、あるいは大量に地下水、河川もしくは下水施設に流してはならない  
 希薄せずあるいは中和せずに、廃水もしくは導水路に流してはならない

(7ページに続く)

## 安全データシート

### JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2026.06.11

バージョン番号: 7

改訂日: 2026.06.11


**化学品の名称 ICP-MS Calibration Standard (125 mL)**

(6ページの続き)

**13 廃棄上の注意**

- ・ 化学品 ( 残余廃棄物 ) , 当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
- ・ 勧告:  
 現地/地域/国/国際規定に従い内容物・容器の露出  
 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。
- ・ 洗浄されていないパッケージ:
- ・ 勧告: 関係当局の規則に従って処分する

**14 輸送上の注意**

・ 国連番号 ・ ADR, IMDG, IATA	UN3264
・ 品名 ( 国連輸送名 ) ・ ADR ・ IMDG, IATA	3264 CORROSIVE LIQUID, ACIDIC, INORGANIC, N.O.S. (NITRIC ACID) CORROSIVE LIQUID, ACIDIC, INORGANIC, N.O.S. (NITRIC ACID)
・ 国連分類 ( 輸送における危険有害性クラス ) ・ ADR, IMDG, IATA  	8 腐食性成分 8
・ 容器等級 ・ ADR, IMDG, IATA	III
・ 環境危険:	情報なし
・ ユーザー用特別予防措置 ・ ケムラー符号: ・ EMS (電子メールサービスナンバー) 番号: ・ Segregation groups ・ Stowage Category ・ Stowage Code	警告: 腐食性成分 80 F-A,S-B (SGG1) Acids A SW2 Clear of living quarters.
・ MARPOL73/78附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質	情報なし
・ 輸送/その他の説明:  ・ ADR ・ Excepted quantities (EQ)	Code: E1 Maximum net quantity per inner packaging: 30 ml Maximum net quantity per outer packaging: 1000 ml

(8ページに続く)

## 安全データシート JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2026.06.11

バージョン番号: 7

改訂日: 2026.06.11

### 化学品の名称 ICP-MS Calibration Standard (125 mL)

(7ページの続き)

・IMDG ・Limited quantities (LQ) ・Excepted quantities (EQ)	5L Code: E1 Maximum net quantity per inner packaging: 30 ml Maximum net quantity per outer packaging: 1000 ml
・UN "模範規制":	UN 3264 CORROSIVE LIQUID, ACIDIC, INORGANIC, N.O.S. (NITRIC ACID), 8, III

### 15 適用法令

#### ・ Concentration of Chemicals

7732-18-5	水	96.4756%
7697-37-2	硝酸	3.5%
13759-83-6	硝酸サマリウム ( 3 + ) 六水和物	0.003%
18618-55-8	塩化セリウム ( I I I ) 七水和物	0.0027%
13823-29-5	硝酸トリウム ( 4 + )	0.0021%
12060-08-1	酸化スカンジウム	0.0015%
1314-36-9	酸化イットリウム	0.0013%
1308-96-9	酸化ユーロピウム(III)	0.0012%
1312-81-8	酸化ランタン	0.0012%
1313-97-9	酸化ネオジウム	0.0012%
12037-01-3	酸化テルビウム	0.0012%
12037-29-5	酸化プラセオジウム	0.0012%
12064-62-9	酸化ガドリニウム	0.0012%
1308-87-8	酸化ジスプロシウム	0.0011%
1314-37-0	酸化イッテルビウム(III)	0.0011%
12032-20-1	酸化ルテチウム	0.0011%
12036-44-1	酸化ツリウム	0.0011%
12055-62-8	酸化ホルミウム	0.0011%
12061-16-4	酸化エルビウム(III)	0.0011%

・該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報 追加的な関連情報は得られていません。

#### ・ 化審法

#### ・ 既存化学物質

7697-37-2	硝酸	1-394
12060-08-1	酸化スカンジウム	
1314-36-9	酸化イットリウム	1-560
1308-96-9	酸化ユーロピウム(III)	1-679
1312-81-8	酸化ランタン	1-757
1313-97-9	酸化ネオジウム	1-797
12037-01-3	酸化テルビウム	1-819
12037-29-5	酸化プラセオジウム	1-800

(9ページに続く)

## 安全データシート

### JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2026.06.11

バージョン番号: 7

改訂日: 2026.06.11

#### 化学品の名称 ICP-MS Calibration Standard (125 mL)

(8ページの続き)

12064-62-9	酸化ガドリニウム	1-701
1308-87-8	酸化ジスプロシウム	1-668
1314-37-0	酸化イッテルビウム(III)	1-824
12032-20-1	酸化ルテチウム	1-775
12036-44-1	酸化ツリウム	1-821
12055-62-8	酸化ホルミウム	1-741
12061-16-4	酸化エルビウム(III)	1-674

**・特定化学物質**

非該当

**・監視化学物質、旧第二種監視化学物質、旧第三種監視化学物質**

非該当

**・優先評価化学物質**

非該当

**・白物質**

非該当

**・既存化学物質安全性点検結果 ( 分解性・蓄積性 )**

12060-08-1 酸化スカンジウム

**・既存化学物質安全性点検結果 ( 毒性 )**

非該当

**・PRTR 制度 - 第一種指定化学物質 (令和 5 年度以降のSDS提供)**

非該当

**・PRTR 制度 - 特定第一種指定化学物質 (令和 5 年度以降のSDS提供)**

非該当

**・PRTR 制度 - 第二種指定化学物質 (令和 5 年度以降のSDS提供)**

非該当

**・毒物及び劇物取締法: 劇物**

非該当

**・毒物及び劇物取締法: 有機シアン化合物から除かれるもの**

非該当

**・毒物及び劇物取締法: 毒物**

非該当

**・毒物及び劇物取締法: 特定毒物**

非該当

**・労働安全衛生法**
**・危険物**
**・爆発性の物 ( 施行令別表第 1 第 1 号 )**

非該当

**・発火性の物 ( 施行令別表第 1 第 2 号 )**

非該当

**・酸化性の物 ( 施行令別表第 1 第 3 号 )**

非該当

(10ページに続く)

## 安全データシート

### JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2026.06.11

バージョン番号: 7

改訂日: 2026.06.11

**化学品の名称 ICP-MS Calibration Standard (125 mL)**

(9ページの続き)

・引火性の物 ( 施行令別表第 1 第 4 号 )	
非該当	
・可燃性のガス ( 施行令別表第 1 第 5 号 )	
非該当	
・特定化学物質等	
・第一類物質	
非該当	
・第二類物質	
非該当	
・第三類物質	
7697-37-2	硝酸
・名称等を通知すべき有害物	
・表示(又は通知)の対象となる範囲 ≥ 1%	
7697-37-2	硝酸
≥ 2025.04.01: 2-1098, ≤ 2025.03.31: 9-307	
・表示(又は通知)の対象となる範囲 ≥ 0,1%	
非該当	
・表示(又は通知)の対象となる範囲 > 0%, > 0,1%	
非該当	
・製造許可物質	
非該当	
・がん原性物質 ( 安衛則 ) ( 作業記録等の 30 年保存対象物質 )	
非該当	
・鉛中毒予防規則 ( 施行令別表第 4 )	
非該当	
・四アルキル鉛中毒予防規則 ( 施行令別表第 5 )	
非該当	
・有機溶剤中毒予防規則第 ( 施行令別表第 6 の 2 )	
・第一種有機溶剤等	
非該当	
・第二種有機溶剤等	
非該当	
・第三種有機溶剤等	
非該当	
・強い変異原性が認められた化学物質	
7697-37-2	硝酸
・安衛法:皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質	
・皮膚刺激性有害物質	
非該当	
・皮膚吸収性有害物質	
非該当	

(11ページに続く)

## 安全データシート JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2026.06.11

バージョン番号: 7

改訂日: 2026.06.11

### 化学品の名称 ICP-MS Calibration Standard (125 mL)

(10ページの続き)

・特化則等	
7697-37-2	硝酸
・海洋汚染防止法	
7697-37-2	硝酸
・特定物質等の規制等によるオゾン層の保護に関する法律	
・特定物質代替物質	
非該当	
・特定物質	
非該当	
・大気汚染防止法	
非該当	
・水質汚濁防止法	
・有害物質	
7697-37-2	硝酸
	2-26
・指定物質	
非該当	
・化学物質の安全性評価: 化学物質安全性評価が遂行されていない	

### 16 その他の情報

このデータシートは作成時における最新情報に基づいて作成されています。しかしながら記載されている内容は情報提供であり、その正確性あるいは完全性に関していかなる保証をなすものではありません。

- ・データシート作成部門: Document Control / Regulatory
- ・問い合わせ先: pdl-acg-regulatory-cq@agilent.com
- ・縮約と二文字語:
  - ADR: Accord relatif au transport international des marchandises dangereuses par route (European Agreement Concerning the International Carriage of Dangerous Goods by Road)
  - IMDG: International Maritime Code for Dangerous Goods
  - IATA: International Air Transport Association
  - EINECS: European Inventory of Existing Commercial Chemical Substances
  - ELINCS: European List of Notified Chemical Substances
  - CAS: Chemical Abstracts Service (division of the American Chemical Society)
  - LC50: Lethal concentration, 50 percent
  - LD50: Lethal dose, 50 percent
  - PBT: Persistent, Bioaccumulative and Toxic
  - vPvB: very Persistent and very Bioaccumulative
  - 酸化性液体 区分2: Oxidizing liquids – Category 2
  - 金属腐食性物質 区分1: Corrosive to metals – Category 1
  - 急性毒性(吸入) 区分1: Acute toxicity – Category 1
  - 急性毒性(吸入) 区分2: Acute toxicity – Category 2
  - 皮膚腐食性/刺激性 区分1A: Skin corrosion/irritation – Category 1A
  - 皮膚腐食性/刺激性 区分2: Skin corrosion/irritation – Category 2
  - 重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分1: Serious eye damage/eye irritation – Category 1
- ・\* 前の版からデータを変更